数字で見る交通安全

令和７年度（2025年度）函館市交通安全事業実績



令和８年８月

函館市交通安全対策会議

目　　次

第1章　道路交通の安全

第1節　道路交通事故の現状

1　函館市の交通事故の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2　道路交通事故の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3　自動車保有登録台数の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
4　運転免許保有者数の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
5　人口の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

第2節　道路交通環境の整備

1　生活道路等における人優先の安全・安心な歩行空間の整備 ・・・・・・・・・・・ 7
2　交通安全施設等整備事業の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
3　効果的な交通規制の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
4　災害に備えた道路交通環境の整備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
5　総合的な駐車対策の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
6　交通安全に寄与する道路交通環境の整備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

第3節　交通安全思想の普及徹底

1　段階的かつ体系的な交通安全教育の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
2　交通安全施設の利用による交通安全教育の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
3　交通安全に関する普及啓発活動の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

第4節　安全運転の確保

1　運転者教育等の充実 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
2　高齢運転者対策の充実 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
3　安全運転管理の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

第5節　冬季に係る道路交通の安全

1　冬季道路交通環境の整備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

第6節　車両の安全性の確保

1　自動車の検査および点検整備の充実 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
2　自転車の安全性の確保 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

第7節　救助・救急活動の充実

1　救助・救急体制の整備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
2　救急医療体制の整備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

第8節　被害者支援の充実と推進

1　自動車損害賠償保障制度に係る無保険（無共済）車両対策の徹底 ・・・・・・・・ 22
2　交通事故被害者支援の充実強化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

第2章　鉄道交通の安全

1　鉄道交通環境の整備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
2　鉄道交通の安全に関する知識の普及 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
3　鉄道の安全な運行の確保 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
4　救助・救急活動の充実 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

第3章　踏切道における交通の安全

1　踏切道の構造改良等の整備の促進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
2　その他踏切道の交通の安全と円滑化を図るための措置 ・・・・・・・・・・・・・ 24

第4章　軌道交通の安全

1　軌道交通環境の整備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
2　安全な運行管理体制の確保 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
3　電車車両の安全性の確保 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

第１章　道路交通の安全

第１節　道路交通事故の現状

１　函館市の交通事故の推移

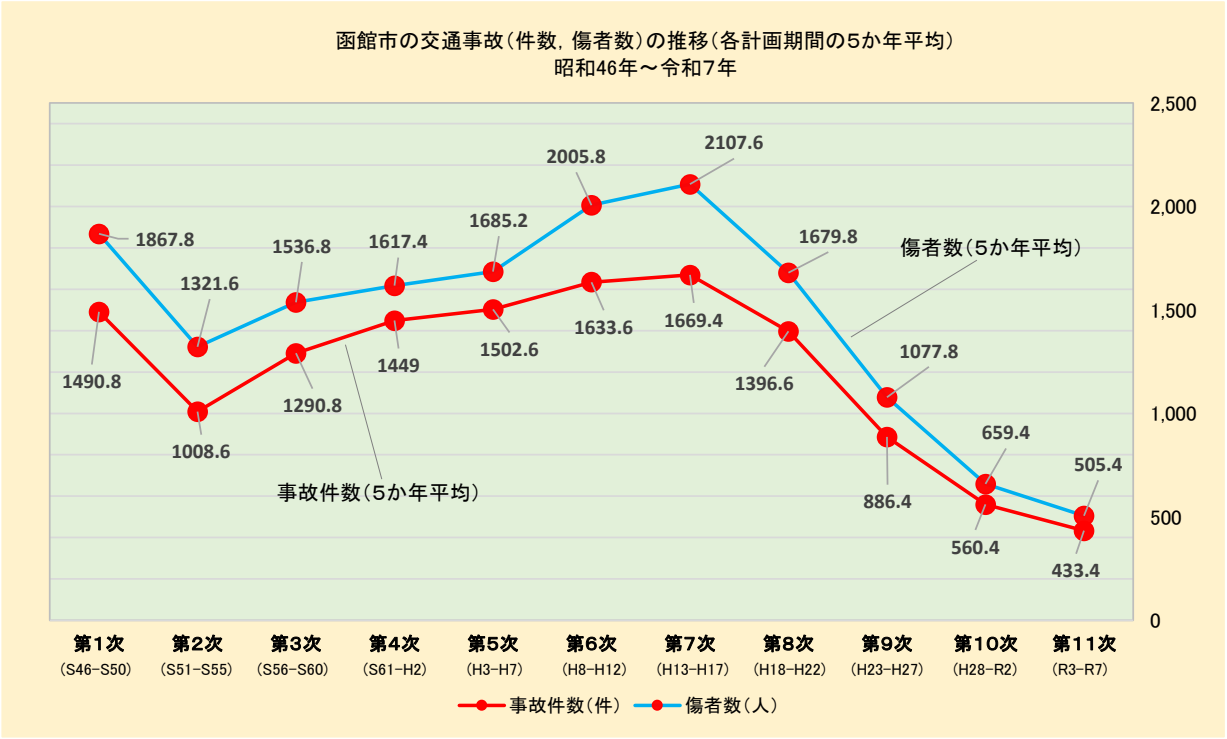
函館市では，交通安全計画に基づく対策がはじまる前の昭和44年（1969年）に，交通事故死者数が過去最多となる36人に達しました。また，昭和45年（1970年）には，事故発生件数が2,133件，傷者数が2,798人に達し，その後，昭和46年(1971年)に交通安全計画を策定し，以降，計画に基づき取り組みを進めています。

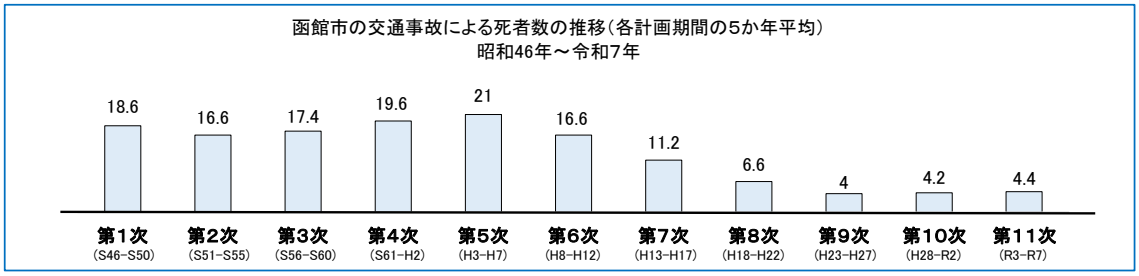
以下のグラフは，昭和46年の第１次交通安全計画の策定から計画期間の５か年毎の事故発生件数，傷者数，死者数の年平均値を示しています。

計画に基づく対策が進められた当初は，歩車道の分離や児童公園の整備などにより，交通事故の発生が抑制されましたが，その後，自動車の普及，増加に伴い交通事故は増加に転じました。この傾向は，国，北海道においても同様であります。

その後も，様々な対策を進めてきた結果，第11次計画期間中の交通事故は，５か年平均で最も少ない件数となっています。

第８次計画以降の傷者数の減少は，シートベルト着用の義務化やエアバックの普及などにより，車内の安全性能が向上し，事故発生時に自動車に乗車している人の被害が軽減され，人身事故の減少をもたらしたものといわれています。





○各計画期間の5か年平均

	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第8次	第9次	第10次	第11次
事故件数（件）	1,490.8	1,008.6	1,290.8	1,449.0	1,502.6	1,633.6	1,669.4	1,396.6	886.4	560.4	433.4
死 者 数（人）	18.6	16.6	17.4	19.6	21.0	16.6	11.2	6.6	4.0	4.2	4.4
傷 者 数（人）	1,867.8	1,321.6	1,536.8	1,617.4	1,685.2	2,005.8	2,107.6	1,679.8	1,077.8	659.4	505.4

※　北海道警察の暦年データに基づき，各5か年の年平均値を算出（東部地区旧4町村の数値を含む。）

２　道路交通事故の概要

全国の交通事故発生件数と死者数は，昭和23年（1948年）に交通事故統計を取り始めて以降，令和４年（2022年）までは６年連続で過去最少を更新していましたが，令和５年（2023年）は，発生件数・死者数ともに増加に転じました。

令和７年（2025年）は発生件数が 287,236件で前年より 3,659件減，死者数が2,547人で前年より116人減となりました。

一方，函館市内における令和７年中の交通事故は，発生件数が 472件で前年より50件増，死者数が５人で前年より１人増，傷者数が 562人で前年より65人増となっています。

このうち死亡事故の５件については，

① 発生時間帯は，４時から６時に１件，８時から10時に１件，14時から16時に１件，18時から20時に１件，22時から24時に１件，

② 状態別の発生状況は，乗用車運転中に１人，自転車乗車中に３人，歩行中に１人となっています。

（１）交通事故の推移　　（各年12月末）

区　分		Ｒ２年	Ｒ３年	Ｒ４年	Ｒ５年	Ｒ６年	Ｒ７年
市内	発生件数（件）	365	450	415	408	422	472
	死 者 数（人）	4	8	1	4	4	5
	傷 者 数（人）	408	520	477	471	497	562
全道	発生件数（件）	7,898	8,304	8,457	9,082	8,743	8,475
	死 者 数（人）	144	120	115	131	104	129
	傷 者 数（人）	9,043	9,598	9,785	10,601	10,297	9,827
全国	発生件数（件）	309,178	305,196	300,839	307,930	290,895	287,236
	死 者 数（人）	2,839	2,636	2,610	2,678	2,663	2,547
	傷 者 数（人）	369,476	362,131	356,601	365,595	344,395	338,294
致死率	市　内（%）	1.10	1.78	0.24	0.98	0.95	1.06
	全　道（%）	1.82	1.45	1.36	1.44	1.19	1.52
	全　国（%）	0.92	0.86	0.87	0.87	0.92	0.89

※致死率＝死者数÷発生件数×100

（２）全道に占める割合　　（令和７年12月末）

区　分	函館市	全　道	全道を100とした比（%）
発 生 件 数（件）	472	8,475	5.6
死　者　数（人）	5	129	3.9
傷　者　数（人）	562	9,827	5.7
人　口（人）	232,760	4,997,061	4.7
自動車保有台数（台）	167,328	3,712,614	4.5
運転免許保有者数（人）	149,522	3,245,210	4.6
道 路 実 延 長（km）	1,316	89,968	1.5

※人口には外国人を含む。

※自動車保有台数は，令和８年３月末現在

※道路実延長は，令和７年４月１日現在，「全道」は高速自動車国道を含まない。

（３） 人口１万人当たりの事故発生状況（令和７年12月末）

区　分	函館市	全　道
発生件数(件)	20.3	17.0
死 者 数(人)	0.2	0.3
傷 者 数(人)	24.1	19.7

（４） 自動車１万台当たりの事故発生状況（令和７年12月末）

区　分	函館市	全　道
発生件数(件)	28.2	22.8
死 者 数(人)	0.3	0.3
傷 者 数(人)	33.6	26.5

（５） 運転免許人口１万人当たりの事故発生状況（令和７年12月末）

区　分	函館市	全　道
発生件数(件)	31.6	26.1
死 者 数(人)	0.3	0.4
傷 者 数(人)	37.6	30.3

（６） 道路延長10ｋｍ当たりの事故発生状況（令和７年12月末）

区　分	函館市	全　道
発生件数(件)	3.6	0.9
死 者 数(人)	0.04	0.01
傷 者 数(人)	4.3	1.1

（７）月別交通事故発生状況　（令和７年12月末）

区　分	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	合計
発生件数(件)	29	45	32	27	30	32	40	41	49	46	51	50	472
死者数(人)	1	－	－	－	1	－	1	－	1	1	－	－	5
傷者数(人)	34	58	41	36	35	35	42	52	59	54	54	62	562

（８）時間帯別交通事故発生状況　（令和７年12月末）

区　分	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時
発生件数（件）	6	4	5	18	73	64
死 者 数（人）	－	－	1	－	1	－
うち高齢者数（人）	－	－	1	－	1	－

区　分	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	合計
発生件数（件）	61	67	79	55	27	13	472
死 者 数（人）	－	1	－	1	－	1	5
うち高齢者数（人）	－	1	－	－	－	1	4

（９）道路形状別交通事故発生状況　（令和７年12月末）

区　分	発生件数（件）	構成比（%）	死者数（人）	構成比（%）
交差点	211	44.7	3	60.0
交差点付近	79	16.7	－	0.0
単　路	152	32.2	1	20.0
その他	30	6.4	1	20.0
合　計	472	100.0	5	100.0

（１０）道路別交通事故発生状況　　（令和７年12月末）

区　分	発生件数（件）	構成比（%）	死者数（人）	構成比（%）
国　道	67	14.2	1	20.0
道　道	126	26.7	1	20.0
市　道	244	51.7	2	40.0
その他	35	7.4	1	20.0
合　計	472	100.0	5	100.0

（１１）年齢層別・状態別死者数　　（令和７年12月末）

区　分	四輪乗車中		二輪乗車中		原付乗車中		自転車乗車中（人）	歩行中（人）	その他（人）	合計（人）	構成比（%）
	運転中（人）	同乗中（人）	運転中（人）	同乗中（人）	運転中（人）	同乗中（人）					
15歳以下	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	0.0
16～19歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	0.0
20～24歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	0.0
25～29歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	0.0
30 歳 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	0.0
40 歳 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	0.0
50 歳 代	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	0.0
60～64歳	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1	20.0
65～69歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	0.0
70～74歳	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	20.0
75～79歳	－	－	－	－	－	－	2	－	－	2	40.0
80歳以上	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	20.0
合　　計	1	0	0	0	0	0	3	1	0	5	100.0

（１２）第一当事者の違反（原因）別交通事故発生件数　　（令和７年12月末）

区　分	酒酔い（件）	最高速度（件）	追越し等（件）	信号無視（件）	一時不停止（件）	安全運転義務違反				その他（件）	合計（件）	構成比（%）
						操作不適（件）	前方不注意（件）	安全不確認（件）	その他（件）			
15歳以下											0	0.0
16～19歳					1	1		2	2	1	7	1.5
20～24歳				3	4	5	12	7	1	3	35	7.5
25～29歳				1	5	1	1	2	1	12	23	4.9
30 歳 代				2	5	4	9	7	6	10	43	9.1
40 歳 代				5	7	7	10	16	9	13	67	14.2
50 歳 代				2	5	8	17	12	8	18	70	14.8
60～64歳				3	5	3	8	13	5	9	46	9.7
65～69歳				1	7	5	11	10	4	7	45	9.5
70～74歳					5	10	3	12	5	8	43	9.1
75～79歳				4	7	7	6	8	4	8	44	9.4
80歳以上			1	3	3	3	4	12	5	14	45	9.5
不　　明										4	4	0.8
合　　計	0	0	1	24	54	54	81	101	50	107	472	100.0

※　第１当事者の年齢層不明の「その他」欄は違反（原因）別不明を含む

（１３）第一当事者の事故類型別交通事故発生件数　　（令和７年12月末）

区　分	人対車両（件）	自転車対車両（件）	正面衝突（件）	追突（件）	出会い頭（件）	車両相互その他（件）	車両単独（件）	踏切（件）	合計（件）	構成比（％）
15歳以下									0	0.0
16～19歳				3	3	1			7	1.5
20～24歳	2	4	1	15	6	6	1		35	7.5
25～29歳	4	7		3	5	4			23	4.9
30 歳 代	6	7		15	11	4			43	9.1
40 歳 代	14	14	1	20	14	4			67	14.2
50 歳 代	15	11	1	24	9	9	1		70	14.8
60～64歳	12	6	2	8	6	11	1		46	9.7
65～69歳	6	10	2	14	9	4			45	9.5
70～74歳	10	6		12	6	6	3		43	9.1
75～79歳	6	13	1	10	9	3	2		44	9.4
80歳以上	7	15		5	8	8	2		45	9.5
不　　明	3			1					4	0.8
合　　計	85	93	8	130	86	60	10	0	472	100.0

（１４）年齢層別・状態別傷者数　　（令和７年12月末）

区　分	四輪乗車中		二輪乗車中		原付乗車中		自転車乗車中（人）	歩行中（人）	その他（人）	合計（人）	構成比（％）
	運転中（人）	同乗中（人）	運転中（人）	同乗中（人）	運転中（人）	同乗中（人）					
15歳以下	－	16	－	1	－	－	19	14	－	50	8.9
16～19歳	8	14	1	－	－	－	27	3	－	53	9.4
20～24歳	12	6	－	－	－	－	7	4	－	29	5.2
25～29歳	18	6	－	－	－	－	3	5	－	32	5.7
30 歳 代	53	16	3	－	－	－	5	9	－	86	15.3
40 歳 代	69	6	1	－	1	－	5	8	－	90	16.0
50 歳 代	65	11	－	－	－	－	7	12	－	95	16.9
60～64歳	22	3	1	－	－	－	6	8	－	40	7.1
65～69歳	13	5	－	－	－	－	1	4	－	23	4.1
70～74歳	11	4	1	－	－	－	2	6	－	24	4.3
75～79歳	8	3	－	－	－	－	5	6	－	22	3.9
80歳以上	1	5	－	－	－	－	4	8	－	18	3.2
合　　計	280	95	7	1	1	0	91	87	0	562	100.0

３　自動車保有登録台数の推移

（各年度３月末）

年度	貨物（台）	乗合（台）	乗用（台）	特種（台）	二輪（台）	軽自（台）	合計（台）	前年増減（台）
Ｒ３	11,362	564	82,645	3,747	2,550	68,623	169,491	△ 1,349
Ｒ４	11,346	515	82,236	3,780	2,657	69,176	169,710	219
Ｒ５	11,356	513	81,307	3,788	2,752	69,320	169,036	△ 674
Ｒ６	11,275	487	80,519	3,774	2,826	69,167	168,048	△ 988
Ｒ７	11,246	482	79,384	3,747	2,875	69,594	167,328	△ 720

４　運転免許保有者数の推移

（各年12月末）

年	男性（人）	女性（人）	合計（人）	前年増減（人）
Ｒ３	83,490	73,641	157,131	△ 75
Ｒ４	81,751	72,441	154,192	△ 2,939
Ｒ５	80,767	72,025	152,792	△ 1,400
Ｒ６	79,758	71,368	151,126	△ 1,666
Ｒ７	78,779	70,743	149,522	△ 1,604

５　人口の推移

（各年12月末）

年	男性（人）	女性（人）	合計（人）
Ｒ３	112,851	135,255	248,106
Ｒ４	111,253	133,178	244,431
Ｒ５	109,343	130,875	240,218
Ｒ６	107,727	128,788	236,515
Ｒ７	106,022	126,738	232,760

※外国人を含む。

第２節　道路交通環境の整備

１　生活道路等における人優先の安全・安心な歩行空間の整備

（１）新設・改築による道路交通環境の整備

ア　国土交通省北海道開発局函館開発建設部実施事業

＜道路改築事業＞

路線名	施行箇所	事業内容
国道278号 （尾札部道路）	豊崎町 大船町	道路改築（本工事）

イ　北海道渡島総合振興局函館建設管理部実施事業

＜道路改良事業＞

路線名	施行箇所	事業内容
赤川函館線	亀田本町	五稜郭跨線橋橋梁補修（本工事）
函館南茅部線	亀尾町	道路改良（本工事）
	堀川町	昭和橋橋梁補修（本工事）
	戸倉町	松聖橋橋梁補修（本工事）
元村恵山線	恵山町	七号橋補修（本工事）
	恵山岬町	水無橋補修（本工事）
函館上磯線	神山	歓喜橋橋梁補修（本工事）
	西桔梗町	新明和橋跨線橋補修（本工事）
蛾眉野原木線	蛾眉野町	円山橋補修（本工事）

＜街路整備事業＞

路線名	施行箇所	事業内容
函館上磯線	高丘町 榎本町	道路改築 （本工事・用地補償および物件補償）
函館南茅部線	湯川町１丁目・ ２丁目	道路改築（本工事）

ウ　函館市土木部実施事業

＜歩道造成事業＞

路線名	施行箇所	事業内容
桔梗川中通	桔梗５丁目18～桔梗４丁目20	Ｌ＝71.3m
東山2-17号線	東山２丁目33～18	Ｌ＝12.4m
湯川3-15号線	湯川町３丁目～戸倉町316	Ｌ＝54.2m

＜街路整備事業＞

路線名	施行箇所	事業内容
日吉中央通	日吉町１丁目 湯川町２丁目	道路築造　Ｌ＝222.2m 測量調査一式 用地買収および補償一式

＜ゾーン３０の整備＞

区　分	地区名	町　名	学校名	指定年度
令和７年度までの整備地区	富岡地区	富岡町１・２丁目	亀田小学校， 五稜郭中学校	令和元年度（2019年度）
	上新川地区	上新川町，新川町	中部小学校	平成29年度（2017年度） 平成30年度（2018年度）
	柏木地区	柏木町	柏野小学校	平成30年度（2018年度）
	杉並地区	杉並町	柏野小学校	平成29年度（2017年度）
	松陰地区	松陰町	柏野小学校	平成28年度（2016年度）
	東松陰地区	松陰町，柏木町	柏野小学校	平成28年度（2016年度）
	港町１丁目地区	港町１丁目	港小学校	平成27年度（2015年度）
	五稜郭地区	五稜郭町，柳町	柏野小学校	平成27年度（2015年度）

※ゾーン３０は，生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的とし，区域（ゾーン）を定めて，時速３０キロの速度制限を実施するとともに，その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ，ゾーン内における速度抑制や，ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策である。

エ　函館市港湾空港部実施事業

＜臨港道路整備事業＞

事業実績はありません。

２　交通安全施設等整備事業の推進

（１）道路管理者の実施事業

各事業＼道路管理者		函館開発建設部（国道）	渡島総合振興局（道道）	函館市（市道）	合　計
イ	歩　道（m）	－	－	339.7	339.7
	自転車歩行者道（m）	－	－	－	－
	交差点改良（箇所）	－	－	18	18
ロ	区 画 線（㎞）	107.4	21.7	2.8	131.9
	防 護 柵（m）	－	－	124.9	124.9
	道路標識（本）	－	－	－	－
	案内標識（本）	－	－	1	1
	道路照明（基）	－	3	47	50
	道路反射鏡（本）	－	－	1	1

各事業は，交通安全施設等整備事業の推進に関する法律第２条第３項第２号の規定によるものであり，下記のとおり区分される。

イ　横断歩道橋（地下横断歩道を含む。）の設置に関する事業又は特に交通の安全を確保する必要がある小区間について応急措置として行う歩道若しくは自転車道の設置その他の道路の改築で政令に定めるものに関する事業。
ロ　道路標識，さく，街灯その他政令で定める道路の附属物で安全な交通を確保するためのもの又は区画線の設置に関する事業。

（２）スクールゾーン・幼児ゾーン警戒標識設置（函館市交通安全課）

ア　函館市実施事業

スクールゾーン	設置箇所	2 箇所
	本　数	2 本
幼 児 ゾ ー ン	設置箇所	
	本　数	

３　効果的な交通規制の推進

（１）北海道函館方面公安委員会の実施事業（令和７年12月末）

区　　分	現　　況
速度規制（40km以下）	310.9ｋｍ
駐（停）車禁止	444.3ｋｍ
転回禁止	14 個所
警音機使用場所	6 個所
バス優先通行帯	2 個所
バス専用通行帯	1 個所
自転車歩道通行可	81.4 ｋｍ
一方通行	97.05 ｋｍ
右左折等の禁止	540 交差点
追越のための右側はみ出し禁止	87.9 ｋｍ
一時停止	3,740 個所
歩行者用道路	3.5 ｋｍ
歩行者の横断禁止	5 個所

（２）北海道警察交通管制センターの整備状況（令和７年12月末）

区　　分	現　　況
直接制御機	201 基
小型文字情報板	20 基
セミフリーパターン	7 基
テレビカメラ	10 基
車両感知器	367 基
バス感知器	9 基
管制エリアの拡大	23.0 ㎢

（３）北海道函館方面公安委員会の信号機等の整備状況（令和７年12月末）

	区　　分	現　　況
信号	感応式	72 基
	定周期	377 基
	押ボタン	225 基
	一灯式	2 基
	小　　計	676 基
視覚障害者用信号付加装置		121 基
系統制御		38 基
閑散時半感応化		44 基
右折感応化		22 基
多現示化		135 基
閑散ボタン化		13 基
速度感応化		3 基
※自動起動型信号機電源付加装置		35 基

※自動起動型信号機電源付加装置
　停電となった際に自動で発電機が作動し，約24時間，交差点の全信号灯器を点灯させるための電源装置。

4　災害に備えた道路交通環境の整備（函館地方気象台）

（1）気象および地震・津波，火山情報等の充実

ア　情報等の改善

事業内容
・大雨特別警報（浸水害，土砂災害），大雨警報（土砂災害），大雨注意報，洪水警報，注意報の指標の改善

イ　気象等の解説および知識の普及・啓発

事業内容
・各種講演，講義，学校防災教育等への講師派遣および資料提供

ウ　函館市における注意報・警報の発表回数（令和７年４月～令和８年３月まで）

・注意報

強風	35 回	風雪	11 回	大雨	27 回	大雪	6 回
洪水	14 回	高潮	0 回	雷	92 回	濃霧	49 回
乾燥	6 回	なだれ	11 回	融雪	4 回	着雪	26 回
波浪	33 回	霜	7 回	低温	0 回	着氷	1 回

・警報

暴風	2 回	暴風雪	0 回	大雨（土砂）	4 回	大雨（浸水）	8 回
大雪	0 回	高潮	0 回	波浪	1 回	洪水	5 回

・特別警報（気象等）

暴風	0 回	暴風雪	0 回	大雨	0 回
大雪	0 回	高潮	0 回	波浪	0 回

・特別警報（津波・火山・地震（地震動））

津波	0 回	火山噴火	0 回	地震	0 回

５　総合的な駐車対策の推進

（１）駐車場等の整備（函館市都市建設部）

ア　附置義務駐車場の整備状況（令和８年３月末）

区　　分	現　　況	
	設置箇所数	収容台数
整備地区	57 個所	1,153 台
商業地域・近隣商業地域	116 個所	3,859 台
周辺地域（本町地区）	23 個所	940 台
合　　計	196 個所	5,952 台

イ　届出（有料）路外駐車場の整備状況（令和８年３月末）

区　　分	現　　況	
	設置箇所数	収容台数
整備地区	10 個所	1,222 台
本町地区	10 個所	942 台
そ の 他	28 個所	5,961 台
合　　計	48 個所	8,125 台

（対象：５００㎡以上）

ウ　市営有料駐車場の整備状況（令和８年３月末）

現　　況	
設置箇所数	収容台数
17 個所	2,264 台

（２）違法駐車を排除しようとする気運の醸成・高揚（函館市交通安全課）

ア　違法駐車等防止重点地域の巡回調査活動状況

調査日数	確認車両
2 日	24 台

６　交通安全に寄与する道路交通環境の整備

（１）子どもの遊び場等の確保

ア　街区公園等の整備（令和８年３月末）（函館市土木部）

種　別	現況・面積	
緑　地	24 個所	347.66 ha
緑　道	2 個所	3.02 ha
総　合	5 個所	80.86 ha
運　動	2 個所	21.27 ha
歴　史	1 個所	25.20 ha
地　区	1 個所	6.41 ha
近　隣	8 個所	14.71 ha
街　区	337 個所	32.77 ha
合　計	380 個所	531.90 ha

イ　児童遊園等の現況（令和８年３月末）（函館市土木部・都市建設部）

区　分		現　況
児童遊園	土　木　部	13 個所
	都市建設部	73 個所
	合　　計	86 個所

ウ　市立小・中学校の学校開放状況（函館市教育委員会）

区　分	学校数	ｽﾎﾟｰﾂ開放	文化開放
小学校	38 校	29 校	7 校
中学校	18 校	10 校	4 校
義務教育学校	1 校	1 校	－校
合　計	57 校	40 校	11 校

エ　梁川交通公園の利用状況（令和７年４月１日～令和７年10月31日）（函館市交通安全課）

入園者数	遊具利用状況（延台数）		
	動力式ゴーカート	足踏み式ゴーカート	自転車
45,865 人	58,131 台	14,822 台	15,505 台

第３節　交通安全思想の普及徹底

１　段階的かつ体系的な交通安全教育の推進（函館市交通安全課）

交通事故を未然に防ぐため，引き続き交通ルールの遵守とマナーの向上を強く呼びかける必要があることから，幼児から高齢者まで広く市民に対し函館市交通指導員による交通安全教室および各種啓発活動を積極的に展開しています。

（１）幼児に対する交通安全教育

ア　交通安全教室・啓発・イベント等の開催状況

区分	認定こども園等	その他	合　計
実施回数	382 回	75 回	457 回
参加人員	15,279 人	884 人	16,163 人

※認定こども園等　～　認定こども園，認可保育所，幼稚園

※そ　の　他　　～　認可外保育施設（事業所内保育施設を含む。），子育てサロン等

イ　幼児交通安全こぐまクラブの結成促進・活動強化

・幼児交通安全こぐまクラブの結成状況（令和８年３月末）

区　分	新規設立				結成状況			
	認定こども園	保育所（園）等	幼稚園	合　計	認定こども園	保育所（園）等	幼稚園	合　計
設立数	－	－	－	0 園	52 園	7 園	4 園	63 園
幼児数	－	－	－	0 人	2,716 人	49 人	92 人	2,857 人

※「こぐまクラブ」とは，認定こども園・保育所（園）等・幼稚園の３歳から５歳までの幼児とその保護者で構成される，幼児交通安全教育を行うためのクラブである。

※保育所（園）等　～　認可保育所，認可外保育施設

（２）児童・生徒等に対する交通安全教育

ア　交通安全教室の開催状況

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	児童館等	合　計
実施回数	229 回	10 回	6 回	5 回	19 回	269 回
参加人員	8,880 人	1,017 人	3,197 人	127 人	459 人	13,680 人

（３）成人等に対する交通安全教育

ア　研修会等の開催状況

・ 交通安全指導員研修会の開催（函館市交通安全指導員会）　　令和８年３月１日（日）

・ 各機関・団体による交通安全教室の実施（地域・事業所等）　随時開催

（４）高齢者等に対する交通安全教育

ア　交通安全教室の開催状況

区　分	老人クラブ・町会等安全教室	高齢者啓発指導	合　計
実施回数	28 回	76 回	104 回
参加人員	522 人	1,687 人	2,209 人

２　交通安全施設の利用による交通安全教室の推進（函館市交通安全課）

（１）梁川交通公園での交通安全教室の開催状況（令和７年４月１日～令和７年10月31日）

区　分	認定こども園等	小学校	その他	合　計
実施回数	20 回	1 回	4 回	25 回
参加人員	642 人	51 人	103 人	796 人

※認定こども園等　～　認定こども園，認可保育所，幼稚園

※そ　の　他　　～　児童館，放課後児童クラブ，親子ちびくまクラブ

３　交通安全に関する普及活動の推進（函館市交通安全課）

（１）交通安全教室・啓発での交通安全用品の配布状況

区　　分	数　　量
夜光反射材	17,563 枚
リーフレット	9,753 部

（２）その他

・ 新入学児童に対し交通安全用品（ランドセルカバー，黄色いワッペン等）を配布

第４節　安全運転の確保

１　運転者教育等の充実

（１）運転者に対する再教育の状況（函館運転免許試験場）

区　分		更新時講　習	高齢者講　習	停止処分者講習				合計
				短期講習	中期講習	長期講習	小計	
函館運転免許試験場実施分	講習回数	2,135 回	169 回	69 回	22 回	22 回	113 回	2,417 回
	受講者数	38,503 人	445 人	433 人	29 人	35 人	497 人	39,445 人
上記以外実施分	講習回数	444 回	2,338 回	－	－	－	－	2,782 回
	受講者数	2,331 人	14,906 人	－	－	－	－	17,237 人
オンライン講習	受講者数	823 人	－	－	－	－	－	823 人

※「函館運転免許試験場実施分」の更新時講習は，函館市以外の受講者も含む。

※「上記以外実施分」の更新時講習は，森・八雲・木古内・松前・江差・せたな・寿都の各警察署管内で実施した数であり，高齢者講習は，北海道警察函館方面本部管内の各自動車学校で実施した数である。

（２）事業用自動車等の適性診断の受診状況（独立行政法人自動車事故対策機構）

区　分	バス	ﾊｲﾔｰ・ﾀｸｼｰ	個人ﾀｸｼｰ	トラック	合計	自家用
受診者数	214 人	370 人	28 人	1,226 人	1,838 人	134 人

（３）運転免許自主返納者数（各年12月末）（北海道警察函館方面本部）

区　　分	75歳未満	75歳以上	合　計
Ｒ３年	746 人	811 人	1,557 人
Ｒ４年	566 人	854 人	1,420 人
Ｒ５年	453 人	823 人	1,276 人
Ｒ６年	559 人	792 人	1,351 人
Ｒ７年	542 人	798 人	1,340 人

※函館方面本部管内取扱数

２　高齢運転者対策の充実（函館市交通安全課）

函館市内に在住する65歳以上の高齢ドライバーを対象に，交通事故防止や事故発生時の被害軽減を目的として，国の性能認定を受けた後付けの安全運転支援装置の購入・設置に係る費用の一部を助成（事業開始：令和６年度）

（１）高齢者安全運転支援装置設置事業費補助制度

・補助金額　　購入，設置費用の２分の１の額（上限額２万円）

・実　　績　　６０，０００円（３件）

３　安全運転管理の推進（北海道警察函館方面本部）

（１）安全運転管理者の選任状況（令和８年３月末）

区　　分	安全運転管理者	副安全運転管理者
選任者数	1,132 人	206　人

（２）安全運転管理者講習会の実施回数

・１０回

（３）事業用自動車の運行管理者の講習状況（独立行政法人自動車事故対策機構）

区分	受講者数	割合
バ　　ス	57 人	13.2 %
ﾊｲﾔｰ・ﾀｸｼｰ	46 人	10.7 %
トラック	328 人	76.1 %
合　　計	431 人	100.0 %

※受講義務については，営業所で事故が無い場合，２年に１回である。

第５節　冬季の道路交通の安全

１　冬季道路交通環境の整備

（１）安全施設の整備

区　分		現　況
砂箱設置	国道	60 箇所
	市道	279 箇所

※道道は令和７年度事業実績なし。

（２）除排雪の推進等

ア　道路の除排雪

区分		除　雪		排雪
		車道	歩道	車道
国道	路線数	8 路線	6 路線	3 路線
	事業量	126.2 ｋｍ	89.7 ｋｍ	15.2 ｋｍ
道道	路線数	31 路線	29 路線	21 路線
	事業量	205.5 ｋｍ	210.9 ｋｍ	54.0 ｋｍ
市道	路線数	4,605 路線	171 路線	－
	事業量	1,049.7 ｋｍ	124.2 ｋｍ	－

イ　除雪機械等の保有台数　　（令和８年３月末）

区　　分	国　道	道　道	市　道
除雪トラック	14 台	8 台	－
除雪グレーダー	2 台	2 台	－
除雪ドーザー	4 台	－	－
ロータリー除雪車	2 台	2 台	－
歩道除雪車	4 台	5 台	－
パトロール車	3 台	2 台	1 台
そ　の　他	4 台	4 台	131 台
保有台数合計	33 台	23 台	132 台

※函館市では，小型除雪機の町会等への貸出制度を導入（平成30年度から実施）

＜各道路区分ごとの管理者＞

・国道　～　函館開発建設部

・道道　～　渡島総合振興局函館建設管理部

・市道　～　函館市土木部

第６節　車両の安全性の確保

１　自動車の検査および点検整備の充実（北海道運輸局函館運輸支局）

（１）自動車の検査の確実な実施

ア　車両検査等の状況（継続検査）

区　分	軽自動車		軽自動車を除く車両		合　計	
	台数	割合	台数	割合	台数	割合
国土交通省北海道運輸局函館運輸支局	－	－	20,971 台	26.6 %	20,971 台	16.4 %
軽自動車検査協会	17,951 台	36.5 %	－	－	17,951 台	14.0 %
民　間　車　検	31,281 台	63.5 %	57,986 台	73.4 %	89,267 台	69.6 %
合　　計	49,232 台	100.0 %	78,957 台	100.0 %	128,189 台	100.0 %

（２）自動車点検整備の推進

イ　整備管理者の選任および研修状況

区分	事業者数	選任者数	受講者数	受講率
バ　　ス	32 社	113 人	17 人	15.0 %
ﾊｲﾔｰ・ﾀｸｼｰ	30 社	63 人	31 人	49.2 %
ト ラ ッ ク	368 社	498 人	204 人	41.0 %
小　　計	430 社	674 人	252 人	37.4 %
レ ン タ カ ー	81 社	121 人	－	－
自　家　用	272 社	327 人	－	－
合　　計	783 社	1,122 人	－	－

※バスの選任者数には，ハイヤー・タクシーと兼任を含む。

※バス，ハイヤー・タクシー，トラックについては，２年に１回の受講義務である。

※レンタカー，自家用については，受講義務がない。

（３）不正改造車の排除

ア　街頭検査の状況

回数	検査車両台数	不良車両台数	不良車両比率
15 回	1,767 台	75 台	4.2 %

イ　装置別不良件数の状況

種　別	件　数	比　率
灯　　火	26 件	27.4 %
車 枠 ・ 車 体	28 件	29.5 %
同 一 性 ・ 構 造	1 件	1.1 %
走　　行	2 件	2.1 %
保　安　装　置	10 件	10.4 %
騒 音 ・ 排 ガ ス	28 件	29.5 %
機　器　検　査	－	－
合　　計	95 件	100.0 %

２　自転車の安全性の確保（函館市交通安全課）

（１）小・中・高校生等を対象とした「自転車の安全な乗り方」等の指導の実施

実施校数	開催数	参加人数
67 校	144 回	10,311 人

第７節　救助・救急活動の充実

１　救助・救急体制の整備（函館市消防本部）

（１）救助・救急自動車，救助・救急隊員の状況(令和８年３月末)

救急自動車	救急隊員	救助工作車	高度救助隊員	救急救命士
15 台	89 人	2 台	24 人	59 人

（２）救急隊員の教育訓練等の状況

区　分	内　容	研修日数	研修人数
救急救命士の養成	救急救命東京研修所	126 日	3 人
救急隊員の専科教育	北海道消防学校救急科	32 日	10 人

（３）救急隊員の教育訓練の状況（令和７年12月末）

実施日数（延べ）	336 日	隊員数（延べ人数）	1,068 人

（４）救急業務の実施状況（令和７年12月末）

区　分	交通事故	その他	総　数
出動件数	468 件	18,061 件	18,529 件
搬送件数	430 件	17,092 件	17,522 件
搬送人数	462 人	17,114 人	17,576 人

２　救急医療体制の整備

（１）初期救急医療機関の状況

○　函館市夜間急病センター（内科・外科）
（五稜郭町２３番１号　函館市総合保健センター内２階）

○　市立函館病院夜間こども急患室（小児科）
（港町１丁目１０番１号）

（２）救命救急センターの状況

○　市立函館病院
（港町１丁目１０番１号）

（３）救急告示医療機関の状況(令和８年３月末)（市立函館保健所）

独立行政法人 国立病院機構	市　立	日本赤十字	医療法人	社会福祉法人	公益社団法人	合　計
1 施設	3 施設	1 施設	10 施設	3 施設	1 施設	19 施設

救急告示医療機関一覧（救急病院等を定める省令第１条）

輪番	病　院　名　称	所　在　地	認　定　期　間
★	独立行政法人国立病院機構 函館医療センター	川原町18番16号	～R9. 6.30
★	市立函館病院	港町１丁目10番１号	～R9. 9.30
	市立函館恵山病院	日ノ浜町15番地１	～R9. 1.31
	市立函館南茅部病院	安浦町92番地	～R10.10.31
	函館赤十字病院	堀川町６番21号	～R9. 3.31
	社会医療法人高橋病院	時任町１番２号	～R9. 9.31
	医療法人社団健和会 函館おおむら整形外科病院	石川町125番地１	～R8. 9.30
	特定医療法人富田病院	駒場町９番18号	～R11.1.31
★	函館渡辺病院	湯川町１丁目31番１号	～R8. 6.30
★	医療法人雄心会函館新都市病院	石川町331番地１	～R11.1.31
★	社会医療法人函館脳神経外科 函館脳神経外科病院	神山１丁目４番12号	～R9. 6.30
	亀田病院	昭和１丁目23番11号	～R8. 6.30
★	共愛会病院	中島町７番21号	～R10.3.31
	社会医療法人道南勤労者医療協会 道南勤医協函館稜北病院	中道２丁目51番１号	～R10.6.30
	社会福祉法人北海道社会事業協会函館病院	駒場町４番６号	～R10.3.31
★	函館中央病院	本町33番２号	～R10.3.31
★	函館五稜郭病院	五稜郭町38番３号	～R11.1.31
★	函館市医師会病院	富岡町２丁目10番10号	～R8. 9.30
	社会医療法人仁生会西堀病院	中道２丁目６番11号	～R11.1.31

注）輪番「★」：救急告示医療機関中　二次輪番参加医療機関

第８節　被害者支援の充実と推進

１　自動車損害賠償保障制度に係る無保険（無共済）車両対策の徹底

（１）責任保険の加入率向上のための個別指導，街頭指導等の実施（北海道運輸局函館運輸支局）

実施回数	28 回	調査台数	1,163 台	指導件数等	23 件

２　交通事故被害者支援の充実強化

（１）交通事故の相談機関と利用状況

名　称	被害者側	加害者側	合　計
北海道渡島総合振興局交通事故相談所 （渡島合同庁舎２階）	0 件	0 件	0 件
日弁連交通事故相談センター函館支部 （函館弁護士会館）	37 件	15 件	52 件

（２）遺児手当の支給状況（函館市子ども未来部）

世 帯 数	27 世帯
対象人数（延べ）	389 人

※対象人数（延べ）には，交通事故による遺児以外の遺児を含みます。

第２章　鉄道交通の安全

（ＪＲ北海道函館支社・道南いさりび鉄道）

１　鉄道交通環境の整備

鉄道施設の維持・管理等の徹底を図るとともに，運転保安設備の計画的な整備を推進し安全対策の推進を図りました。

２　鉄道交通の安全に関する知識の普及

各季節の交通安全運動期間や本格的な冬期前に踏切事故防止キャンペーン等，踏切事故防止の啓発活動を実施しました。

３　鉄道の安全な運行の確保

災害が予想される荒天時には，計画運休を実施することで，旅客列車の災害・事故を防止しました。

４　救助・救急活動の充実

鉄道輸送における事故・災害等の異常時に対して，避難・誘導等の必要な活動を迅速かつ適確に行うため，主要駅における防災訓練等により，社員の対応能力の向上を図るとともに消防機関やその他関係機関との連携・協力体制の強化を図りました。

第３章　踏切道における交通の安全

（ＪＲ北海道函館支社・道南いさりび鉄道）

１　踏切道の構造改良等の整備の促進

・函館線　函館駅構内　　万代町道路踏切
・函館線　函館～五稜郭　第二亀田町道路踏切
・函館線　五稜郭～桔梗　サイベ沢道路踏切

２　その他踏切道の交通の安全と円滑化を図るための措置

名称・実施期間	活動内容
春の踏切事故防止ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ （春の全国交通安全運動） ４月６日～４月15日	・踏切事故防止ポスター，列車妨害防止ポスターの掲示 ・踏切，駅頭等での啓発活動 ・主要駅，列車内での啓発放送 ・テレビ，ラジオCMによる呼びかけ ・関係機関，団体，自動車学校等への啓発活動の協力要請 ・学校，幼稚園等への啓発活動 ・デイライト運動の推進 ※各期間共通
秋の踏切事故防止ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ （秋の全国交通安全運動） ９月21日～９月30日	
冬の踏切事故防止ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ （冬の北海道交通安全運動） 11月13日～11月22日	
厳寒期の踏切事故防止ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ １月21日～１月30日	
「踏切の日」啓発活動 毎月23日	

第４章　軌道交通の安全

（函館市企業局交通部）

１　軌道交通環境の整備

軌道交通の安全な運行と定時性等を確保するため，引き続き安全地帯およびその他保安施設の整備を推進するとともに，電車の基盤である軌道や電路等の計画的な改良に努めました。

また，軌道敷内への乗り入れや右折待ちにより電車の運行に支障を来たさないよう，自動車運転者に対し注意喚起を促したほか，各交通安全運動期間中の「旗の波作戦」展開時や高齢者の運転免許更新講習時に啓発チラシの配布を行いました。

区　分	事業内容	
軌道制振化工事	堀川町～千代台	130.0 m
	宝来町～青柳町	130.0 m
	千代台～中央病院および 柏木町～深堀町	140.0 m
変電所改良工事	東雲町変電所設備更新	

２　安全な運行管理体制の確保（乗務員研修等実績）

乗務員および技術職員等の資質の維持・向上を図るため，非常時における適切な緊急対応に関する研修など，職員の教育訓練や研修の充実に努めるとともに，その態勢の強化・充実を図り，安全に係る情報の共有や安全意識および安全管理の一層の向上に努めました。

区　　分		実施回数	受講者数 （延べ人数）
事業内容	安全マネジメント研修	1 回	56 人
	添 乗 指 導	5 回	121 人
	事故防止研修	1 回	65 人
	接 遇 研 修	1 回	56 人
	電車主席研修	1 回	7 人
	電車乗務員教育考査	1 回	65 人
	施設課（職員・主査・考査）研修	3 回	20 人
	冬期運転研修	1 回	48 人
	非常ブレーキ研修	1 回	48 人

３　電車車両の安全性の確保（低床電車導入等実績）

電車の安全性の維持・向上を図るため，車両主要部分の故障箇所等の履歴管理を徹底するとともに，冬季間における凍結故障防止等の対策に努め，車両故障等の予防を推進しました。

区　　分	事業内容
ＶＶＶＦ制御装置更新	1 両
暖房装置更新	1 両

発行：函館市交通安全対策会議
（事務局：函館市市民部交通安全課）
〒040－8666 函館市東雲町４番13号
TEL：0138-21-3191　FAX：0138-21-3195
E－mail：kotsuanzen@city.hakodate.hokkaido.jp